

# SolidWorks 2017 インストール手順書

第 1.1 版

令和 4 年 8 月 29 日

KUDOS 学生センター

教育系運用管理 G

## 改訂履歴

版数	更新日付	内容	作成者	確認者
第 1.0 版	2018/05/15	初版		
第 1.1 版	2022/08/29	シリアル番号の変更実施 Windows 7 の削除実施。		

## 目次

---

1. 本書について	3
1.1. 本書の目的	3
1.2. システム要件	3
1.3. 本書の作成環境	5
1.4. 本書実施のアカウント権限について	5
2. SolidWorks2016 SP2.0 の削除	6
2.1. 概要	6
2.2. 手順	6
3. SolidWorks2017 SP2.0 の導入	10
3.1. 概要	10
3.2. 手順	10
4. その他	27
4.1. ライセンスサーバの情報の入力時にエラーが表示される場合	27
4.2. HOSTS ファイルへのライセンスサーバ追加方法 (Windows 10 の場合)	28

# 1. 本書について

---

## 1.1. 本書の目的

本書では、SolidWorks2017 のインストールを目的に作成しております。

## 1.2. システム要件

### (1) ソフトウェア要件

#### 【OS】

Microsoft® Windows 8.1 64-bit ((Professional、Enterprise のみ)

Microsoft® Windows 10 64-bit (Professional、Education、Enterprise のみ)

※Microsoft® Windows 8 はサポート対象外となります。

#### 【Microsoft Office】

2016

2019

注) 部品表・設計テーブルを使用する場合、必ず必要となります

### (2) ハードウェア要件

#### 【CPU】

Intel、もしくは AMD のプロセッサ (CPU は、SSE2(Streaming SIMD Extensions 2)をサポートしていることが必要です。

注) Intel® Pentium® 3、Athlon™、Athlon XP は、サポートされていません。

#### 【その他】

8GB 以上の RAM

15GB 以上のハードディスク空き容量

注) SolidWorks のインストール容量は、約 12GB になります。

(PhotoView 360、SolidWorks Toolbox、eDrawings、Simulation を含む)

上記の空き容量を十分確保してからインストールして下さい。

マウス等のポインティングデバイス

DVD ドライブ

下記で確認できるグラフィックカードとドライバの組み合わせ

■ グラフィックドライバの検索 & 適用方法 ⇒ [www.solidworks.com/graphicscards](http://www.solidworks.com/graphicscards)

1. 「Computer Vendor」 でご使用マシンのシステムベンダー(IBM、DELL 等)を選択
2. 「Computer Model」 でご使用のマシンの機種を選択
3. 「Graphics Card Model」 でご使用マシンのグラフィックカード機種を選択
4. 「SolidWorks Version」 で SolidWorks 2017 を選択
5. 「Operating System」 でご使用の OS の種類を選択
6. [Show Results] をクリック
7. 表示されるドライバー一覧から適合するものをクリックしてダウンロード、インストール

### 1.3. 本書の作成環境

本書は次の環境で作成しております。

よって、画面構成など、実際のご利用環境と本手順が異なる事も御座います。

大変恐れ入りますが、その際は、ご利用環境にあわせて、読み替えをお願い申し上げます。

- ・ 本体 富士通 LIFEBOOK E756/M
- ・ SolidWorks 2017 SP 2.0

#### 【ソフトウェア】

- OS Windows10 Enterprise (64Bit)
- Office Professional Plus 2016
- Internet Explorer version 11

#### 【ハードウェア】

- CPU Intel Corei5 6300U 2.4GHz
- MEMORY 8GB
- HDD 128GB
- マウス 富士通 CP664646-01
- DVD ドライブ HL-DT-ST DVDRAM GUDoN
- グラフィック Intel(R) HD Graphics 520

※グラフィックについては、本書の作成環境では、要件を満たしておりません。ご注意ください。

### 1.4. 本書実施のアカウント権限について

本書記載の手順は特記事項が無い限り、「Administrator」または「Administrator 権限」を持つユーザー アカウントにて実施して下さい。

## 2. SolidWorks2016 SP2.0 の削除

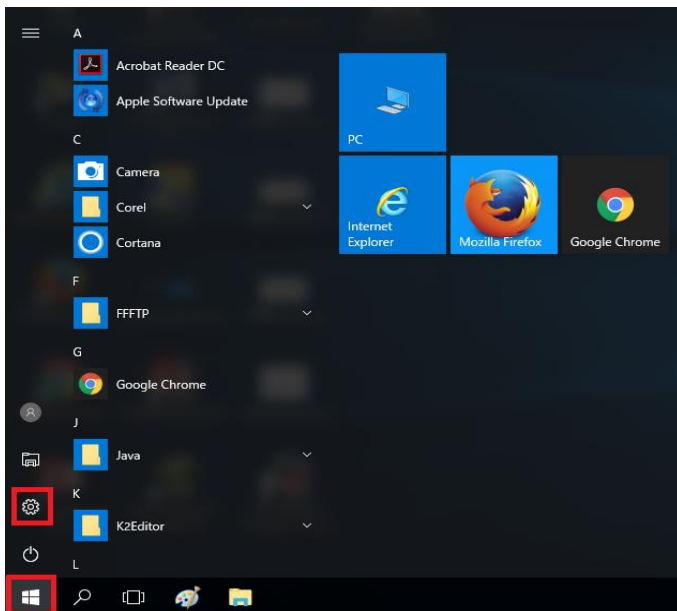
### 2.1. 概要

本手順では、SolidWorks2016 SP2.0 を例に削除手順を記載致します。

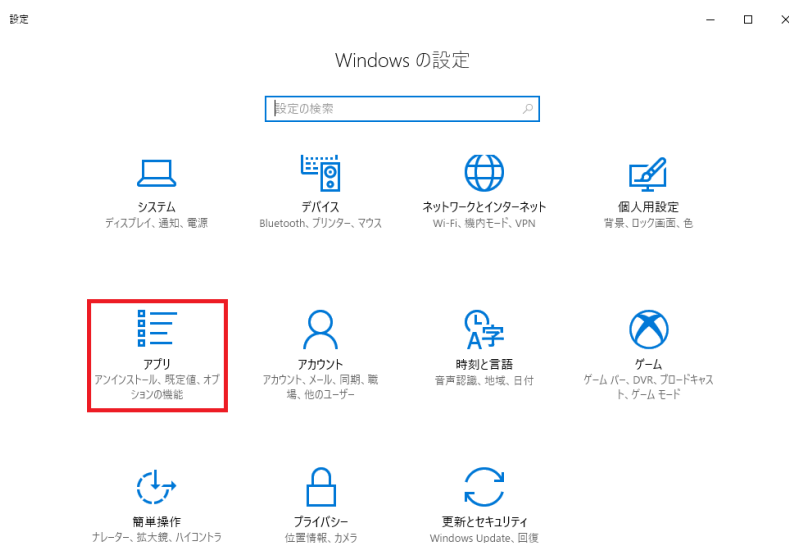
なお、新規導入の場合は『3.SolidWorks2017 SP2.0 の導入』の手順から実施してください。

### 2.2. 手順

- 1) Administrator または、Administrator 権限のユーザでログイン後、『スタート』→『設定』の順で開きます。

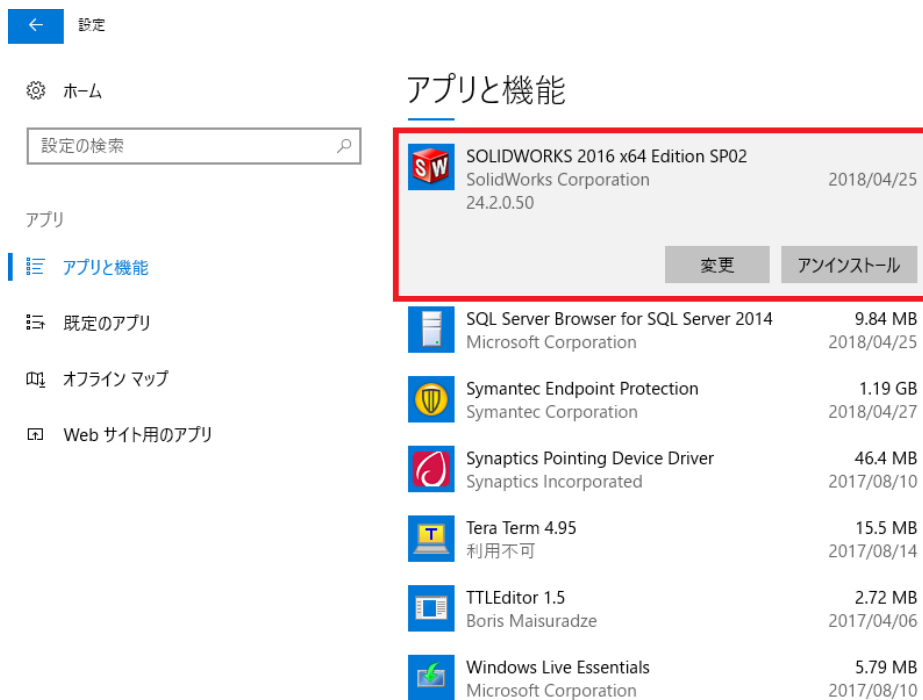


- 2) 『アプリ』を選択します。

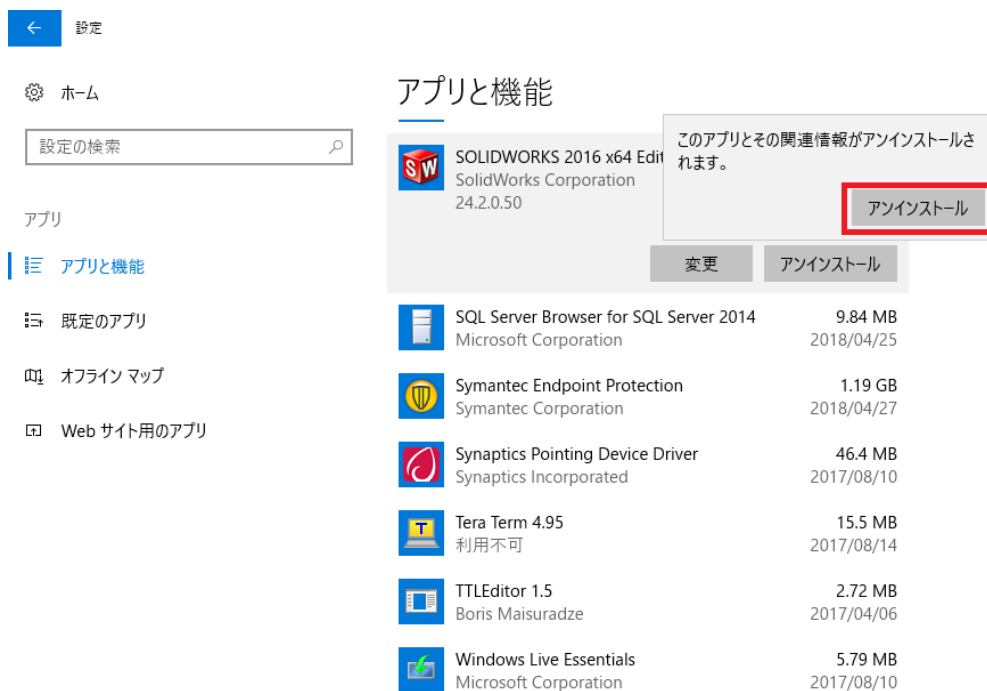


- 3) 現在インストールされているプログラム一覧より、既存 SolidWorks を選択後、『アンインストール』をクリックしてください。

※本書では、『SolidWorks 2016 SP2.0』が対象となります。



- 4) 『このアプリとその関連情報がアンインストールされます。』とメッセージが表示されるため、アンインストールをクリックします。



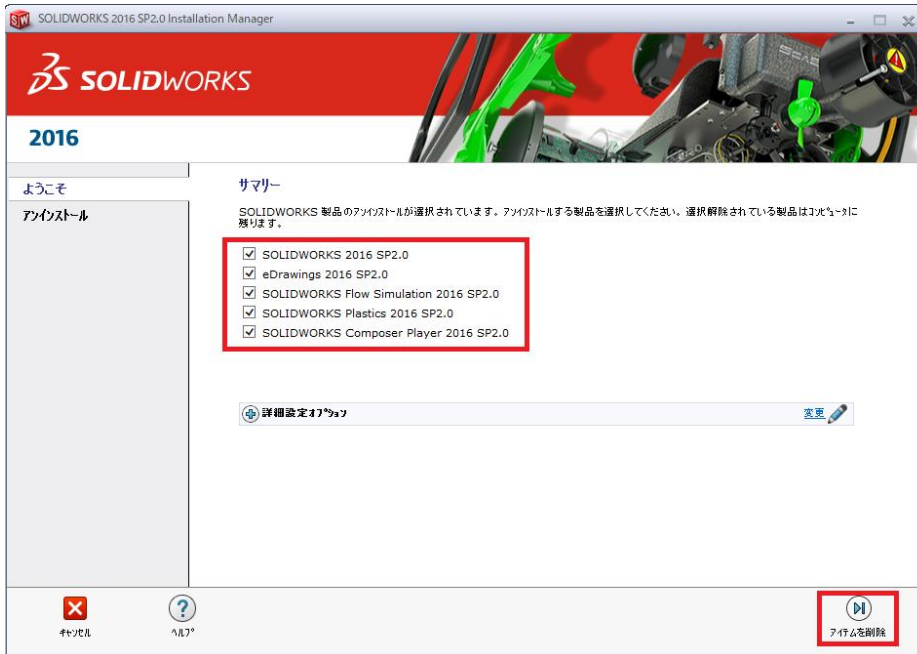


5) 削除する製品を選択後、『アイテムを削除』を選択してください。

参考として、本書作成環境での削除対象ソフトウェアを記載します。

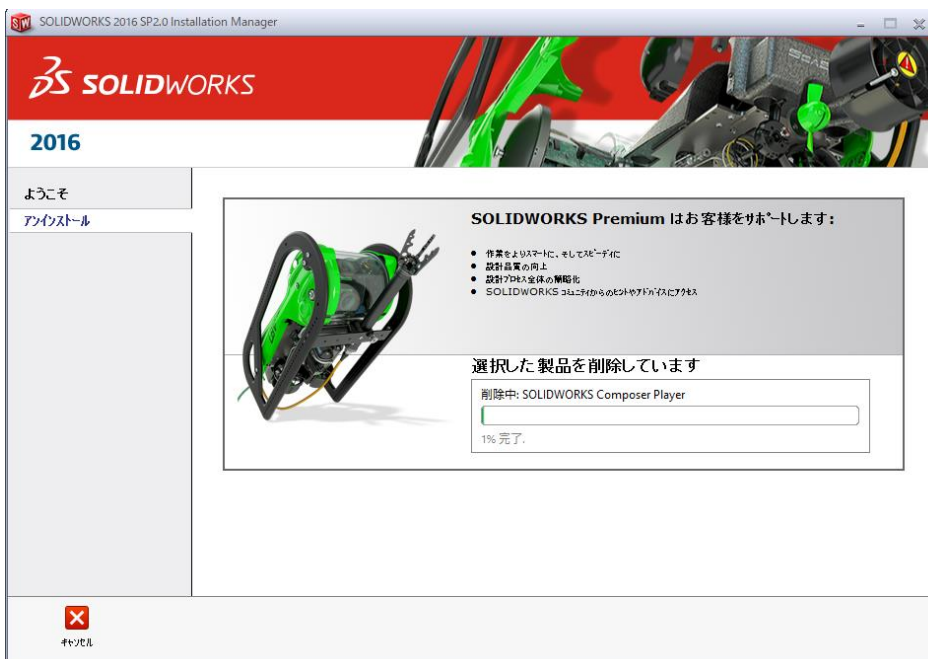
『SolidWorks 2016 SP2.0』 『eDrawings 2016 SP2.0』 『SolidWorks Flow Simulation 2016 SP2.0』

『SolidWorks Plactics 2016 SP2.0』 『SolidWorks Composer Player 2016 SP2.0』



6) 選択した製品の削除が開始されますので、しばらくお待ちください。

削除完了後は自動的にウィンドウが閉じられます。



- 7) 不要フォルダが残っている場合は、手動で削除してください。

参考として、本書作成環境における不要フォルダ(手動削除フォルダ)を記載します。

※C:\ProgramData\SolidWorks\SolidWorks 2016\templates にテンプレートを置いている場合は事前にバックアップを取得してください。

『C:\Solidworks Data』 『C:\Program Files\SolidWorks Corp』

『C:\ProgramData\SolidWorks』

『C:\Users\ユーザ ID\AppData\Roaming\SolidWorks』

『C:\Users\ユーザ ID\AppData\Roaming\SolidWorks2016』

- 8) コンピュータを再起動して下さい。

- 9) 以上で SolidWorks2016 関連製品の削除は完了です。

引き続き、『3.SolidWorks2017 SP2.0 の導入』の手順を実施してください。

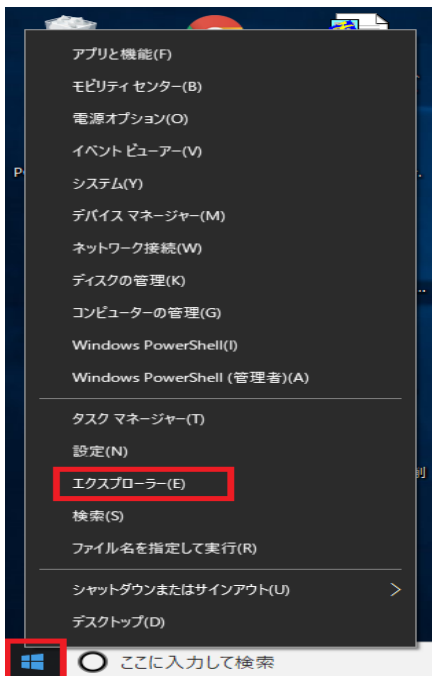
## 3. SolidWorks2017 SP2.0 の導入

### 3.1. 概要

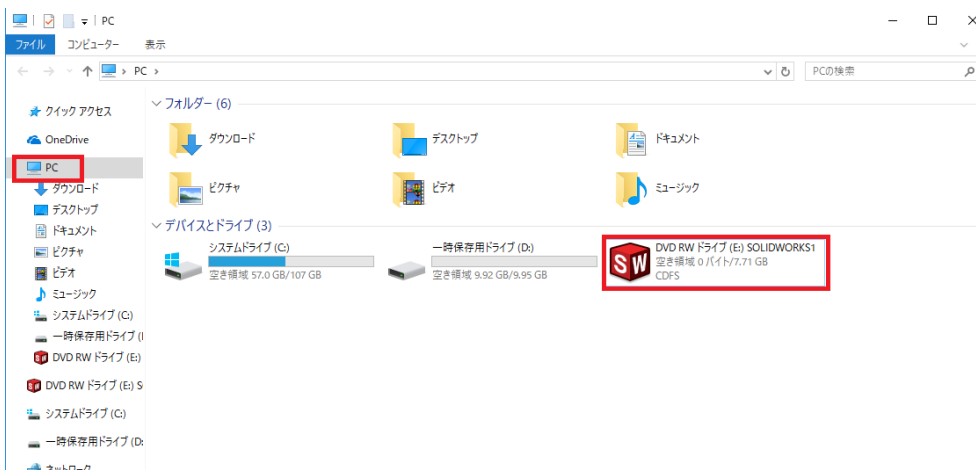
本手順書では、SolidWorks2017 SP2.0 の導入手順を記載します。

### 3.2. 手順

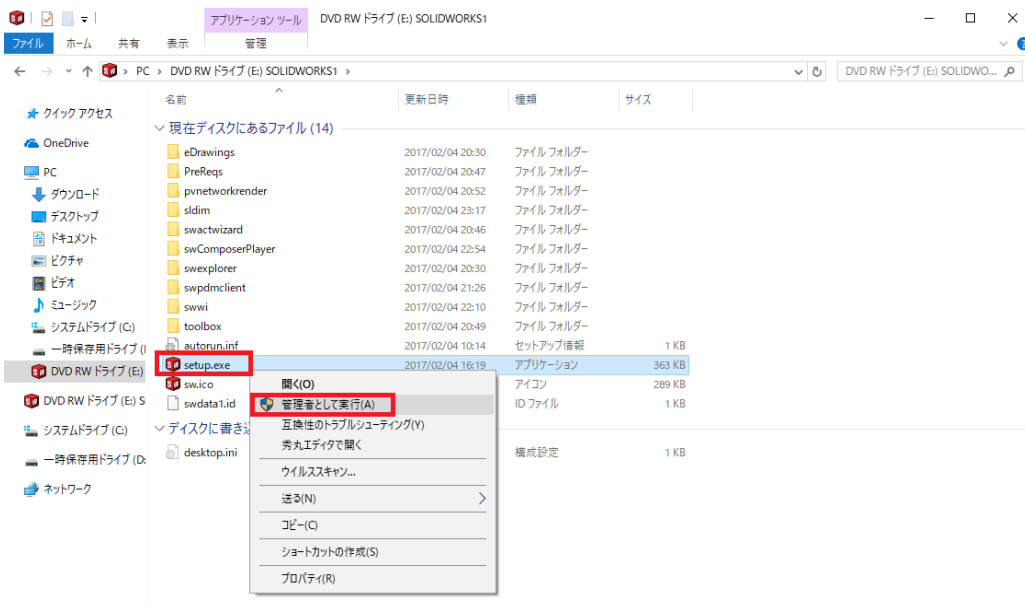
- 1) SolidWorks2017 のインストールメディア Disk1 を、光学ドライブへセットします。
- 2) マウスを『スタート』ボタンに合わせ右クリックします。  
『エクスプローラー』をクリックします。



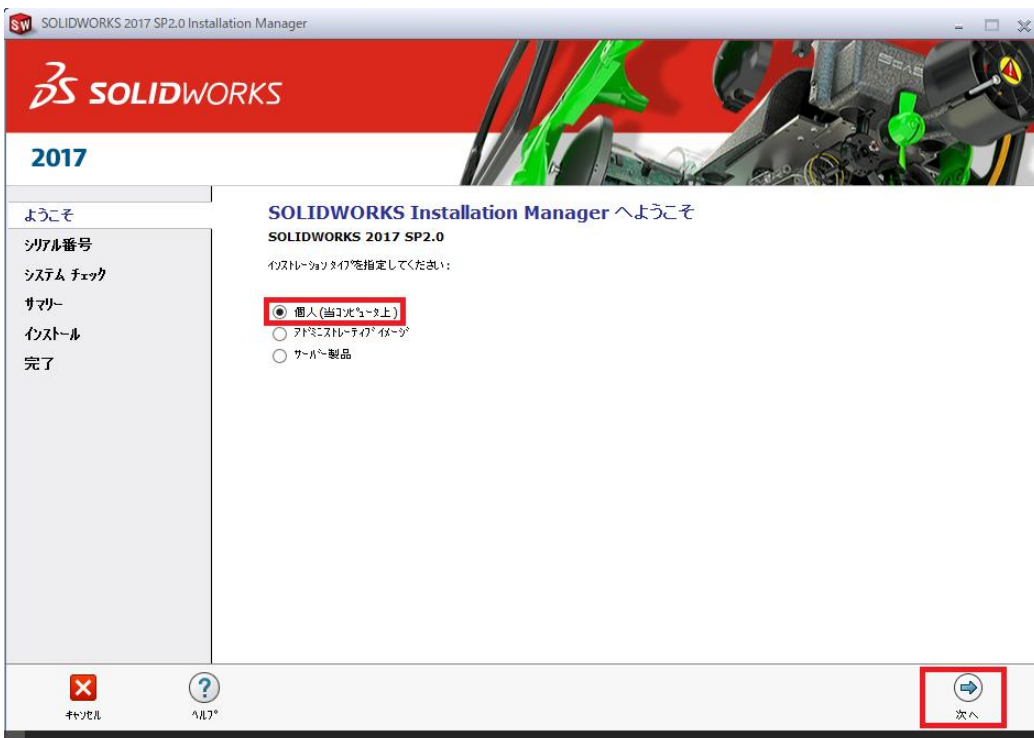
- 3) 『PC』 → 『DVD RW ドライブ(E):SOLIDWORKS1』をダブルクリックします。



- 4) 『setup.exe』を右クリックし、『管理者として実行』を選択します。



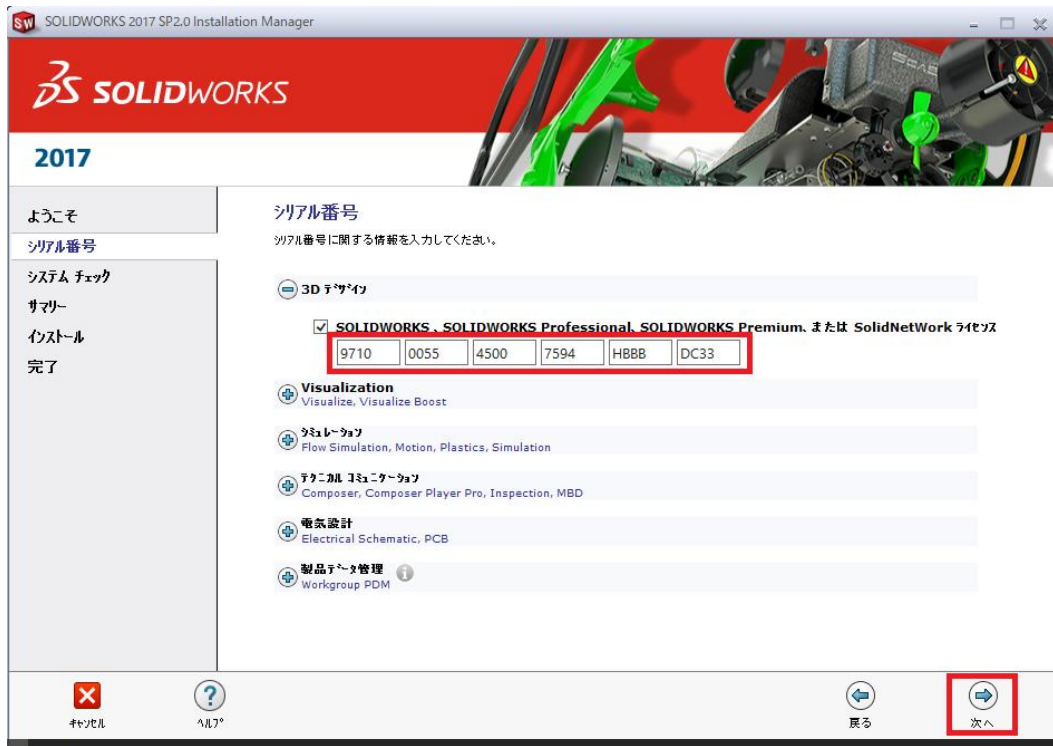
- 5) 『インストーラタイプを指定してください。』と表示されるので『個人(当コンピュータ上)』を選択し、『次へ』をクリックします。



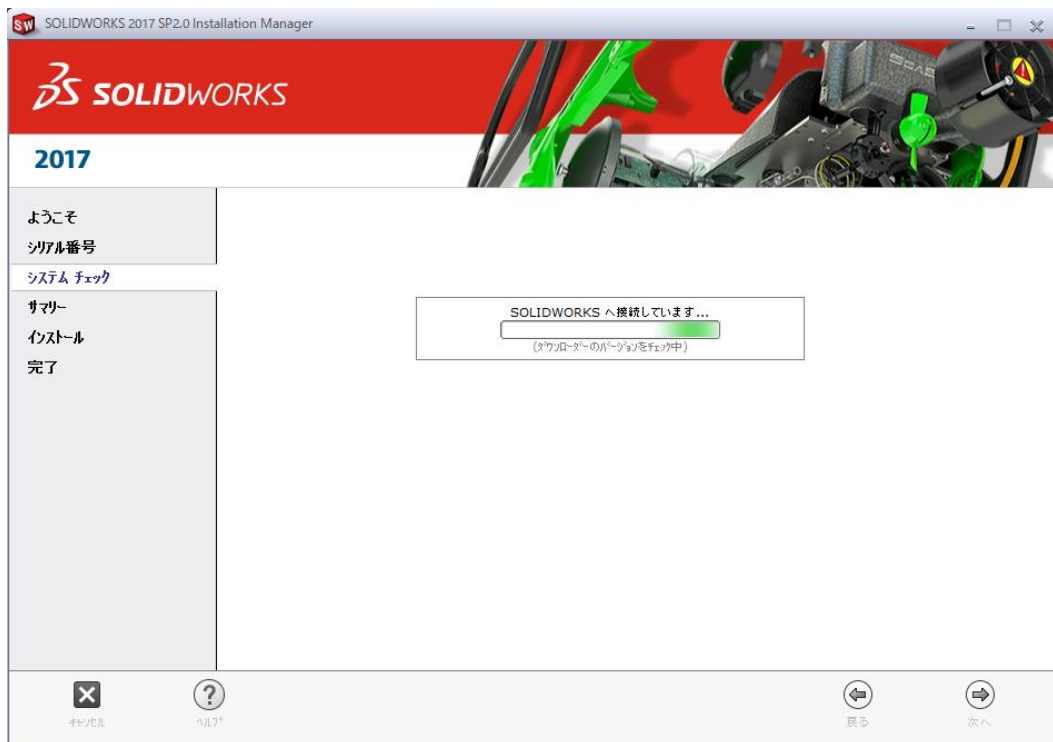
- 6) シリアル番号の入力画面が表示されますので、下記のシリアル番号を入力後『次へ』をクリックします。

シリアル番号 : 9710 0254 3526 5516 C3FB SC34

(キュー・ナ・イ・ゼロ・ゼロ・ニ・ゴ・ヨン・サン・ゴ・ニ・ロク・ゴ・ゴ・イ・ロク・シイ・サン・エフ・ビー・エス・シイ・サン・ヨン)

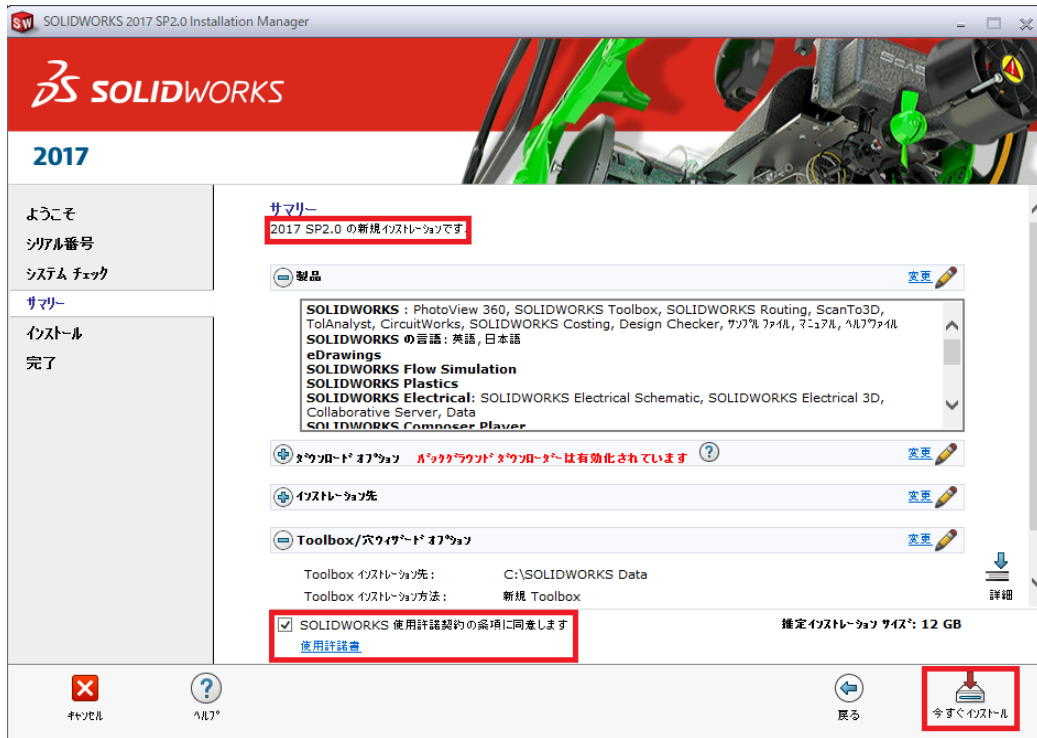


- 7) 『SolidWorks へ接続しています・・・』が表示されますのでしばらくお待ちください。



## 8) 暫くすると、サマリーが表示されますので

『2017 SP2.0 の新規インストールです。』である事を確認します。  
『SOLIDWORKS 使用許諾契約の条項に同意します』にチェックを入れ、  
『今すぐインストール』をクリックします。

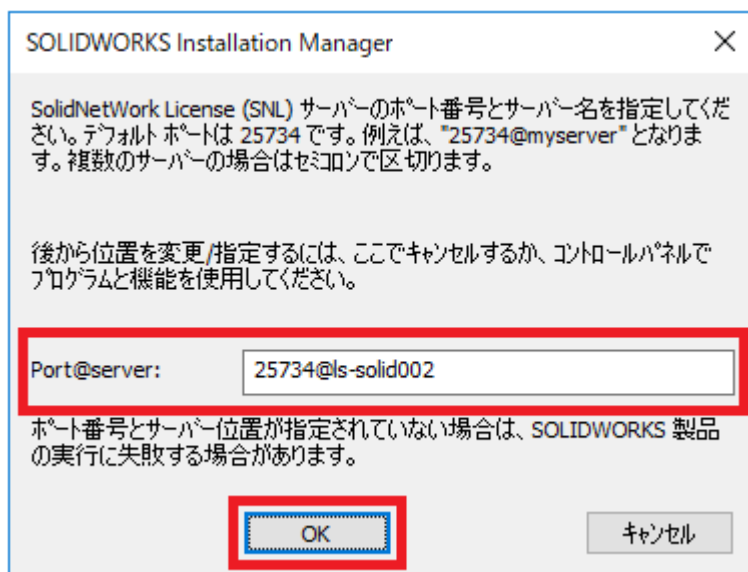


## 9) ライセンスサーバの情報の入力を求められるので

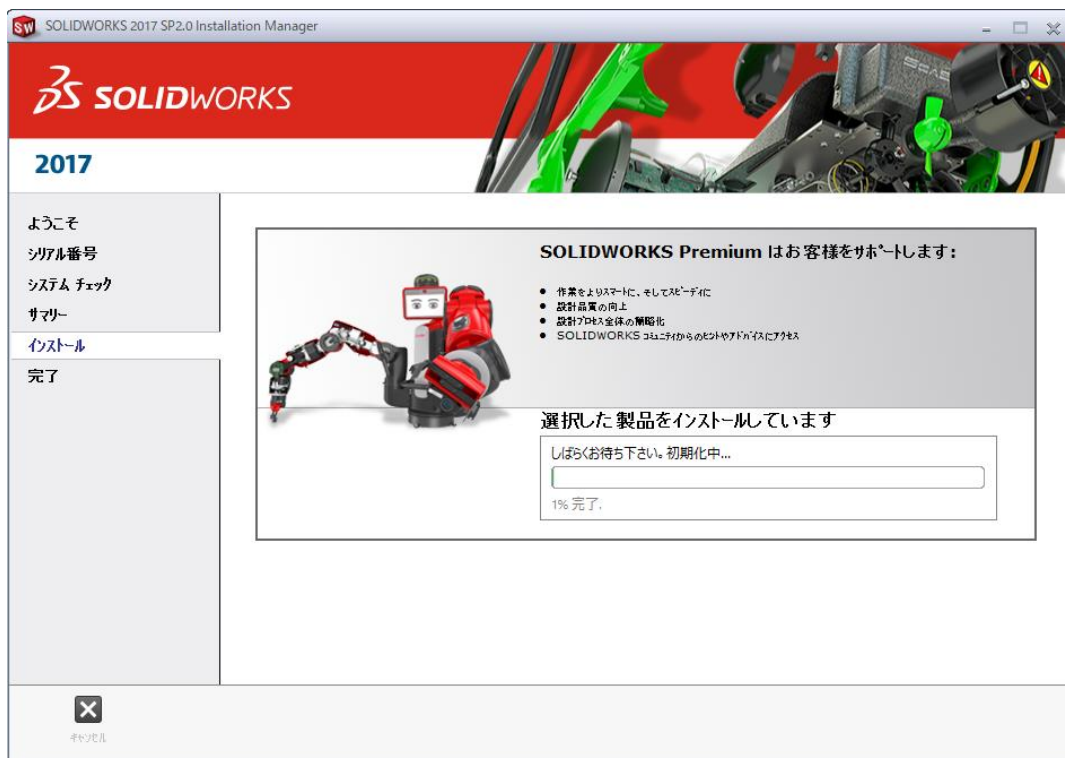
Port@server へ下記のライセンスサーバ情報を入力後、『OK』ボタンをクリックしてください。

ライセンスサーバ情報：25734@ls-solid002

(25734@エル・エス・ハイフン・エス・オー・エル・アイ・ディー・ゼロ・ゼロ・ニ)

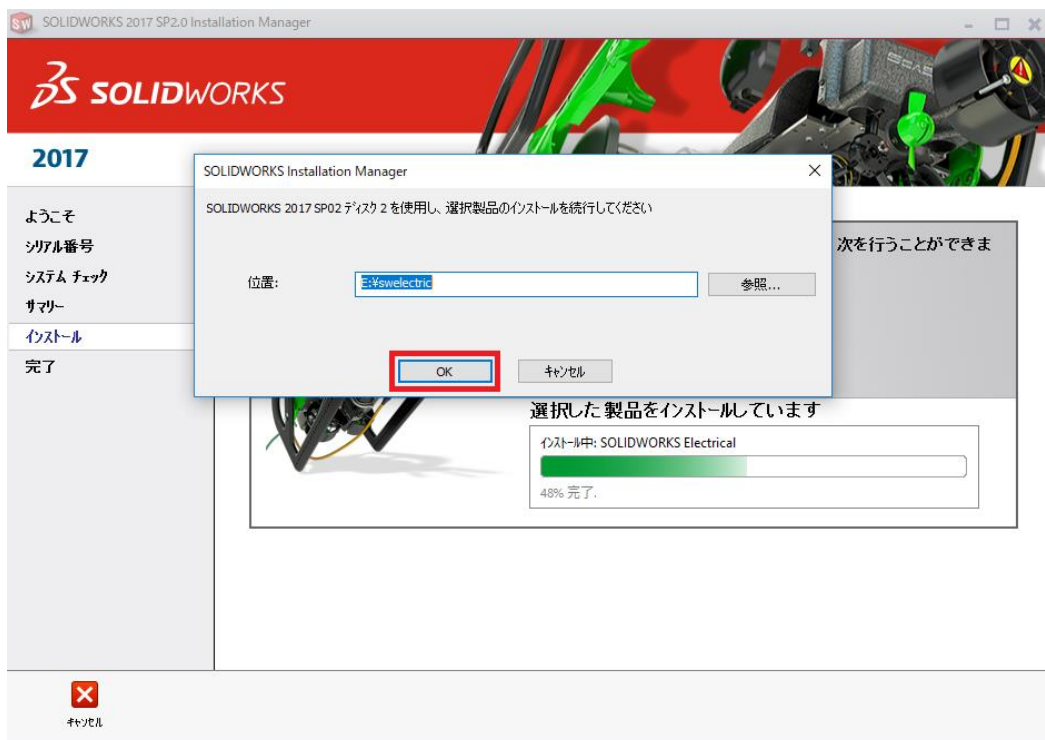


10) インストール処理が開始されます。



11) 暫くすると、Disk2 に入れ替えるメッセージが表示されます。

光学ドライブから Disk1 を取りだし、Disk2 を入れ『OK』をクリックしてください。

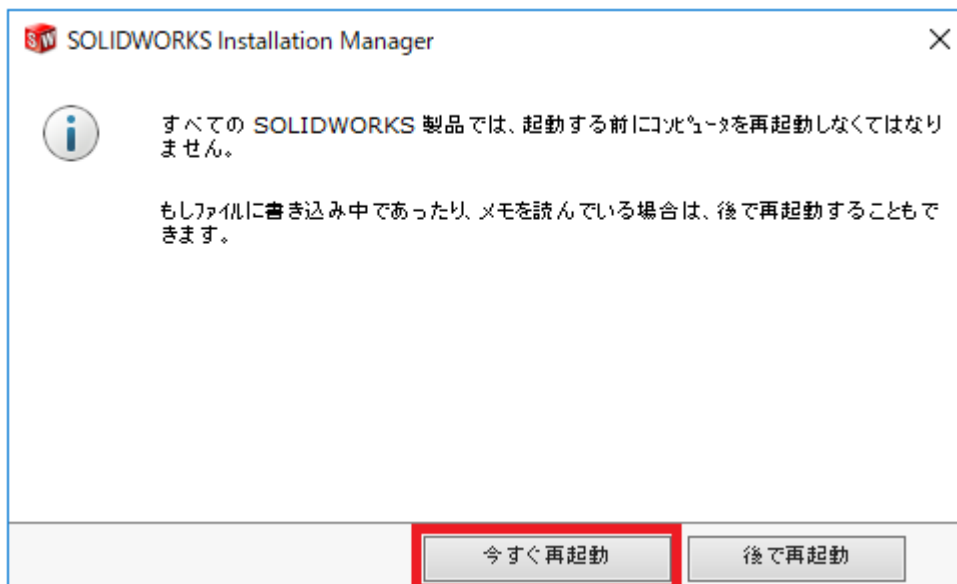


12) 暫くすると、『インストール完了』画面が表示されます。

『SolidWorks2017 の新規項目を表示』のチェックを外して、『いいえ、参加しません』を選択後、『完了』をクリックし SolidWorks2017 のインストールメディアをコンピュータより取り出します。

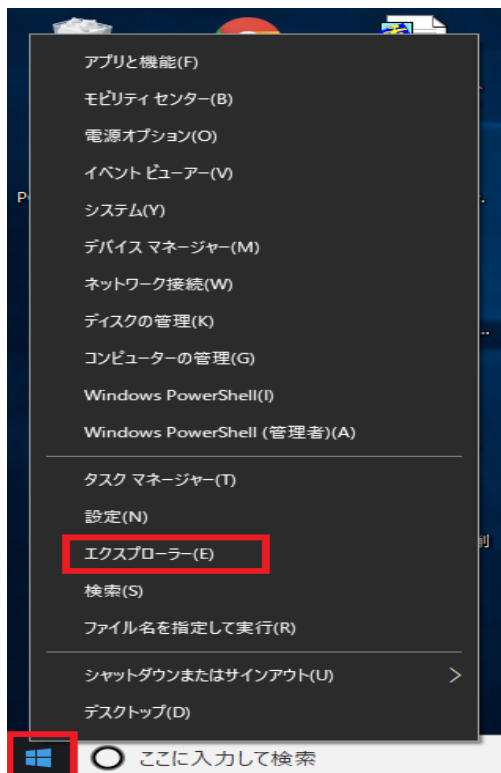


13) インストール完了後、下図のようなメッセージが出る場合は『今すぐ再起動』をクリックして再起動してください。

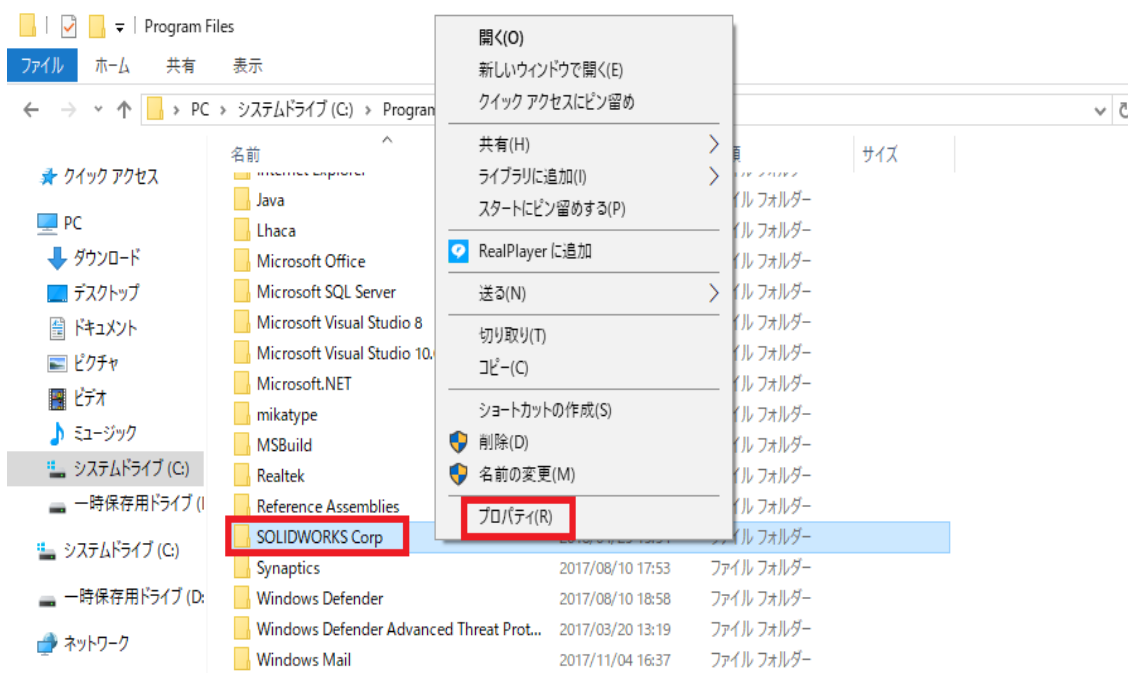




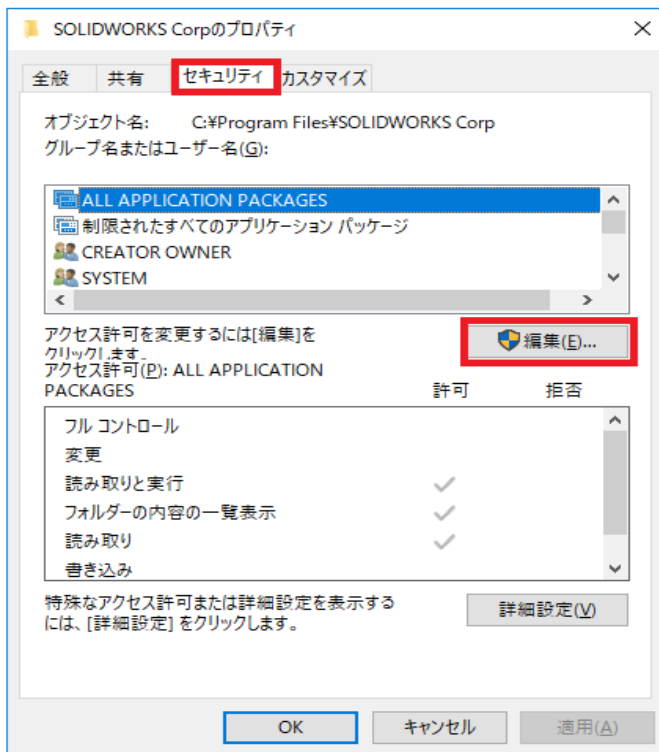
- 14) マウスを『スタート』ボタンに合わせ右クリックをします。  
『エクスプローラー』をクリックします。



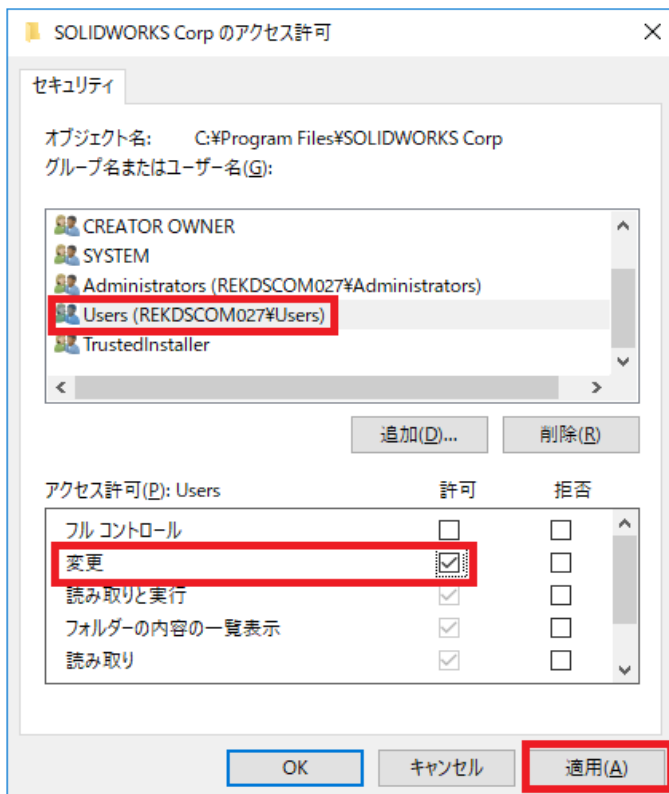
- 15) 『システムドライブ (C:)』 → 『Program Files』の順で階層を開きます。  
『SolidWorks Corp』を右クリックし『プロパティ』を開きます。



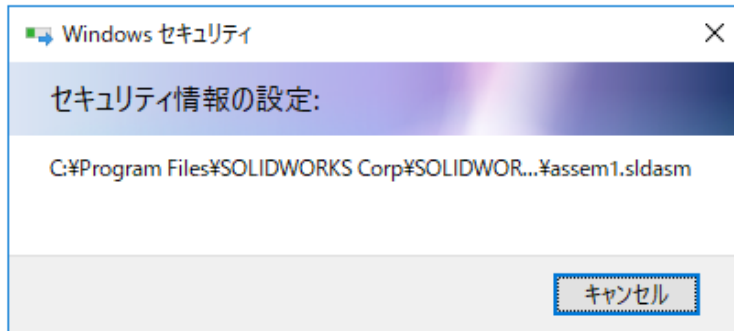
- 16) 『セキュリティ』タブを選択して『編集』をクリックします。



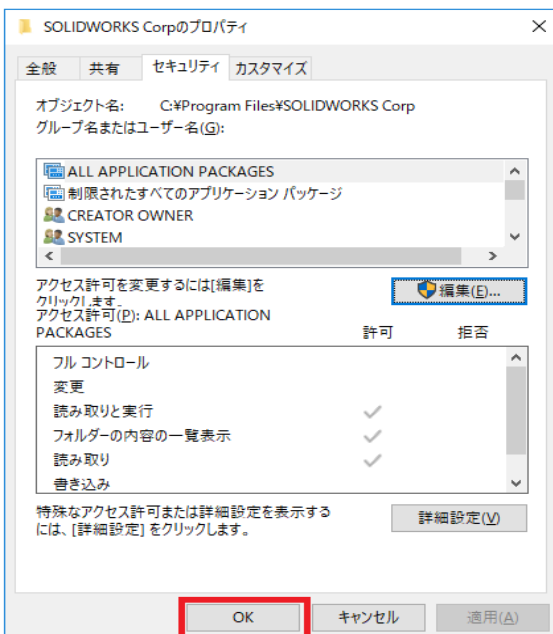
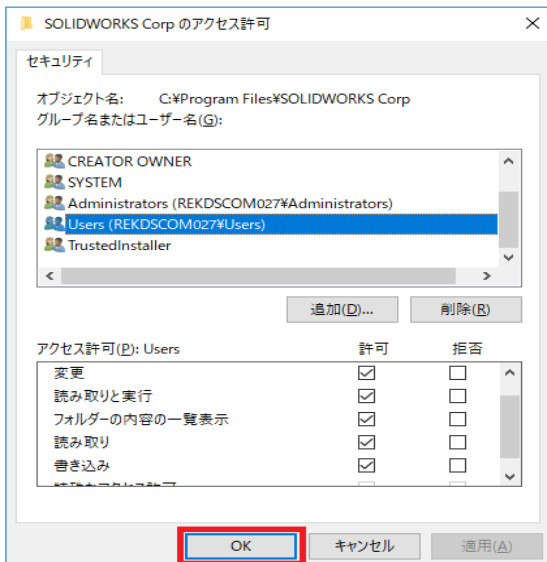
- 17) 『Users (コンピュータ名¥Users)』を選択し、『変更』の『許可』にチェックを入れて、『適用』をクリックします。



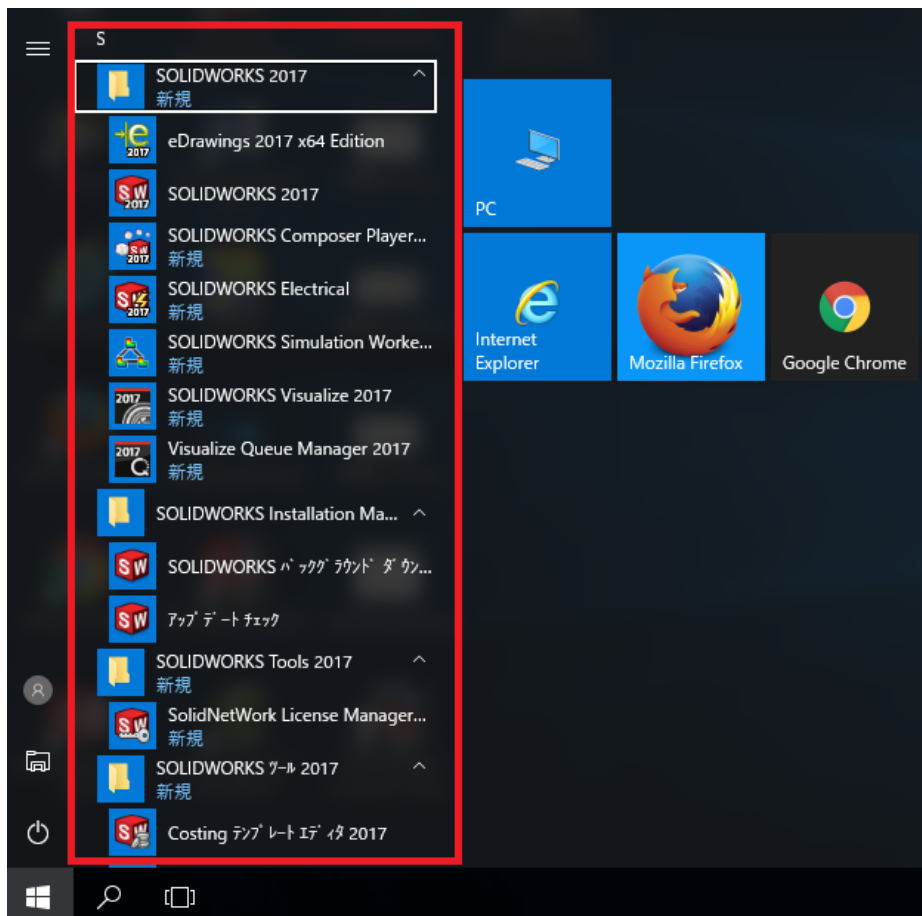
- 18) 『Windows セキュリティ』画面が表示されます。  
セキュリティ設定が完了するまで、暫くお待ち下さい。



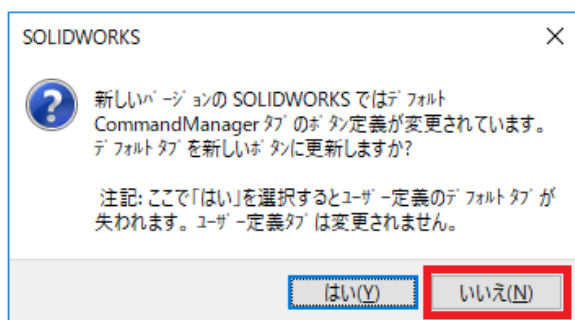
- 19) セキュリティ設定が完了すると、『Windows セキュリティ』画面が閉じます。  
『SolidWork Corp のアクセス許可』『SolidWork Corp のプロパティ』にて  
『OK』をクリックします。



- 20) スタートメニューに『SolidWorks 2017』グループ及び各アプリケーションアイコンが作成された事を確認します。



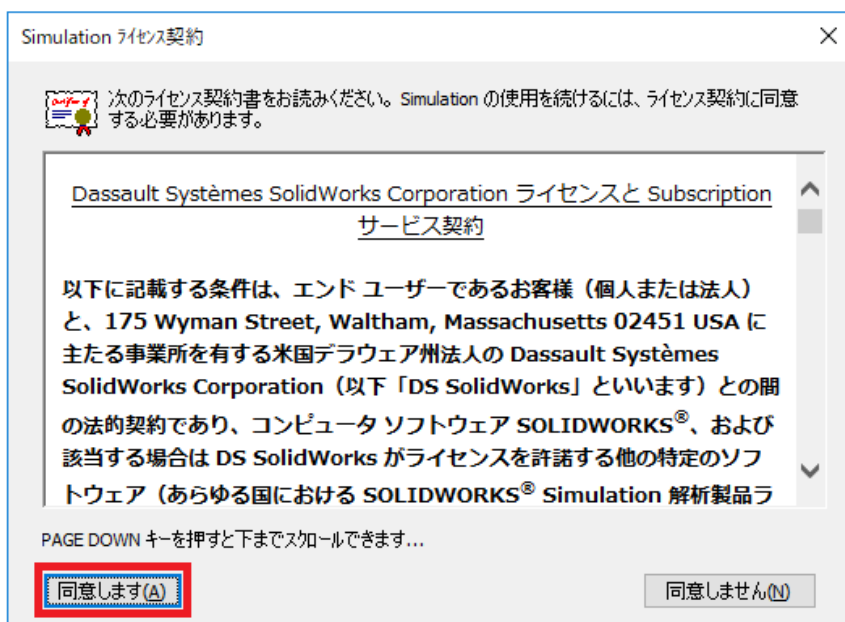
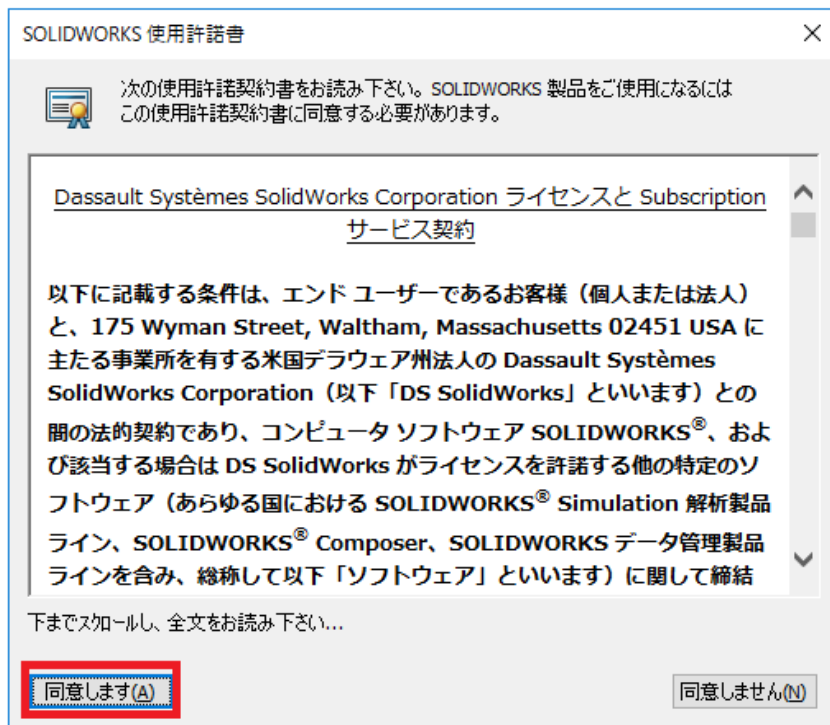
- 21) 『SolidWorks 2017』を起動します。  
古いバージョンを使用していた場合は下図のメッセージが表示される事もありますが、『いいえ』をクリックしてください。



22) 各アプリケーションの起動確認を実施して下さい。

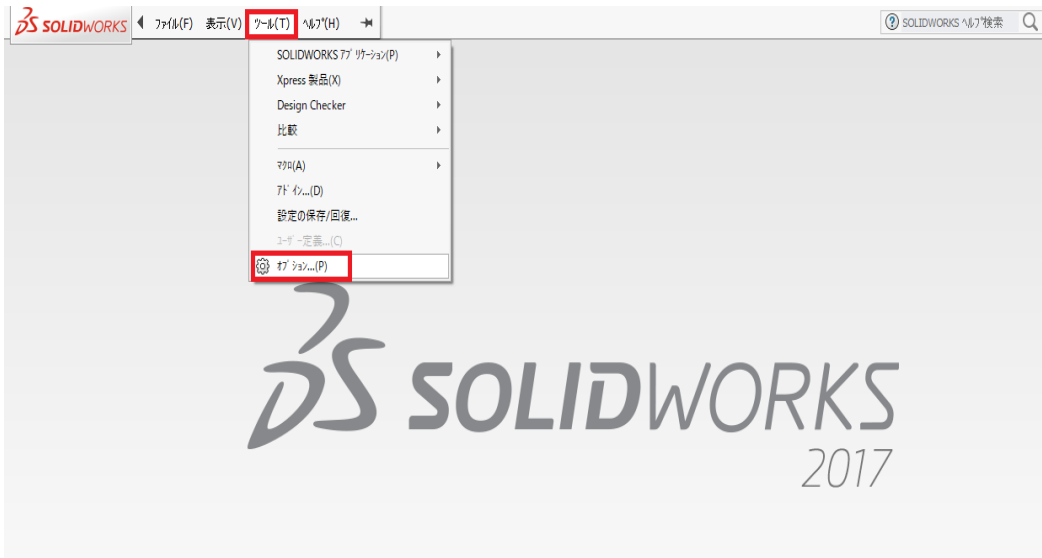
補足説明) 初回起動時のみ『使用許諾書の同意』『ライセンス契約書の同意』等のメッセージが表示されますが『同意します』を選択して使用を続けてください。

2回目以降表示される事はありません。

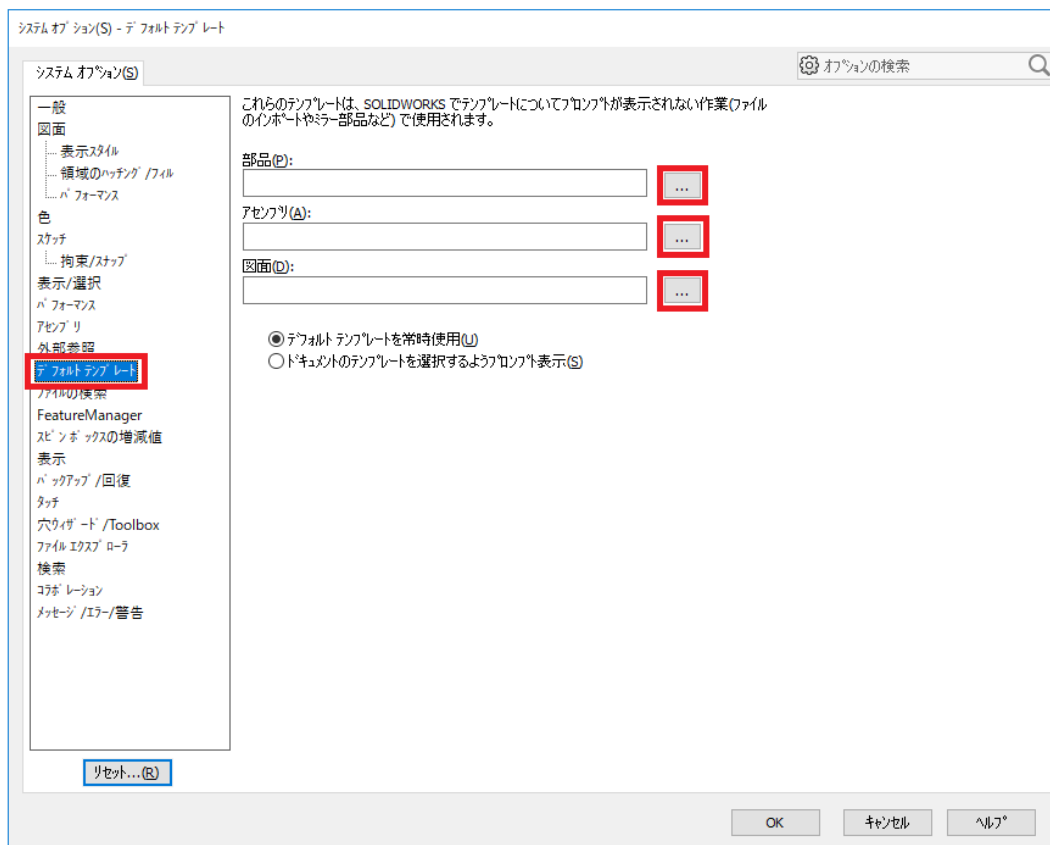


23) 2.2 の(7)でバックアップを取得していた【templates】フォルダ内のデータを【C:\ProgramData\SolidWorks\SolidWorks2016\templates】にコピーします。

24) 『ツール』 → 『オプション』をクリックします。



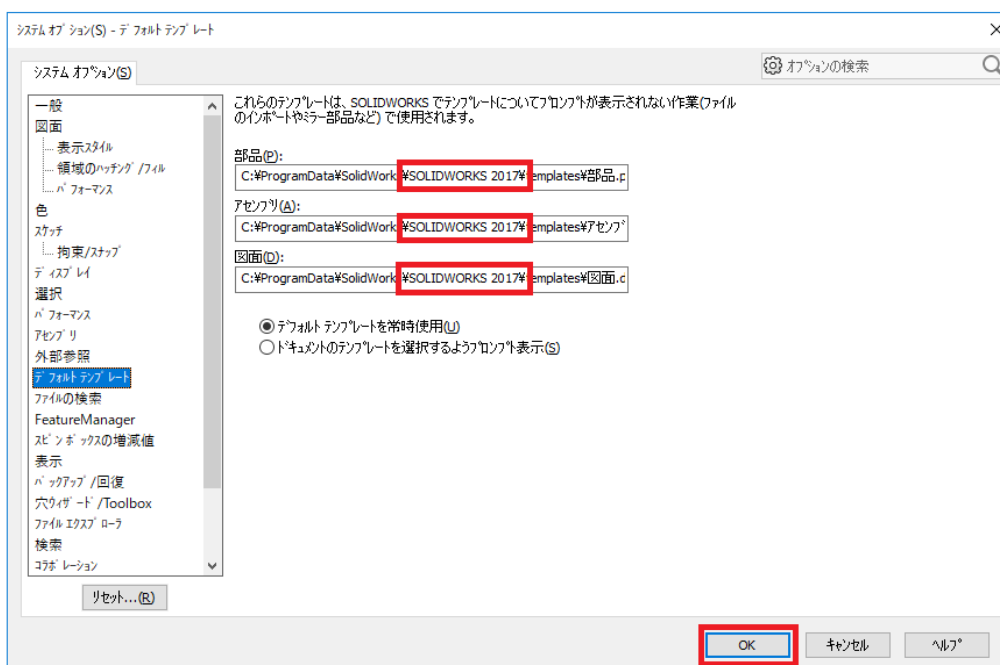
25) 『デフォルトテンプレート』を選択し、各テンプレートの『...』をクリックします。 3



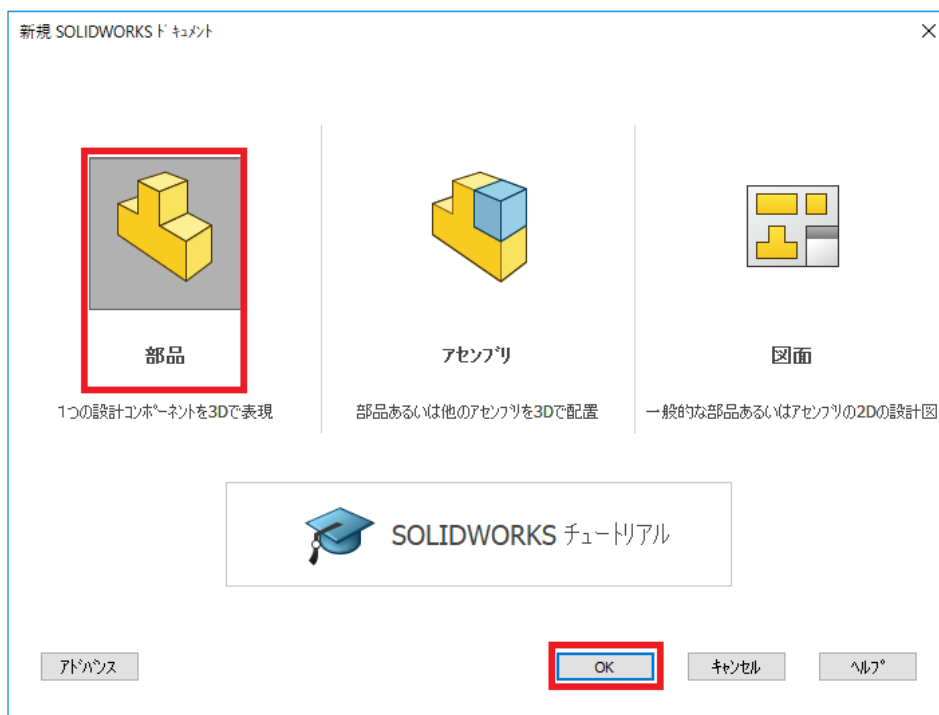
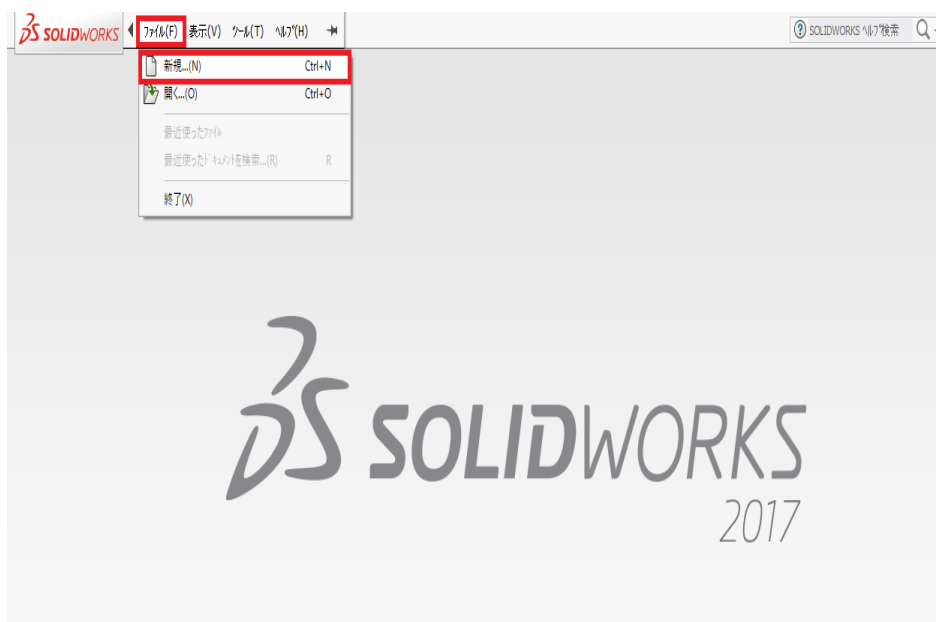
- 26) 各参照先が開きますので、そのまま『OK』をクリックします。  
ここでは部品を例にしております。



- 27) テンプレート参照先が SolidWorks 2017 に変更されていることを確認し、『OK』をクリックします。

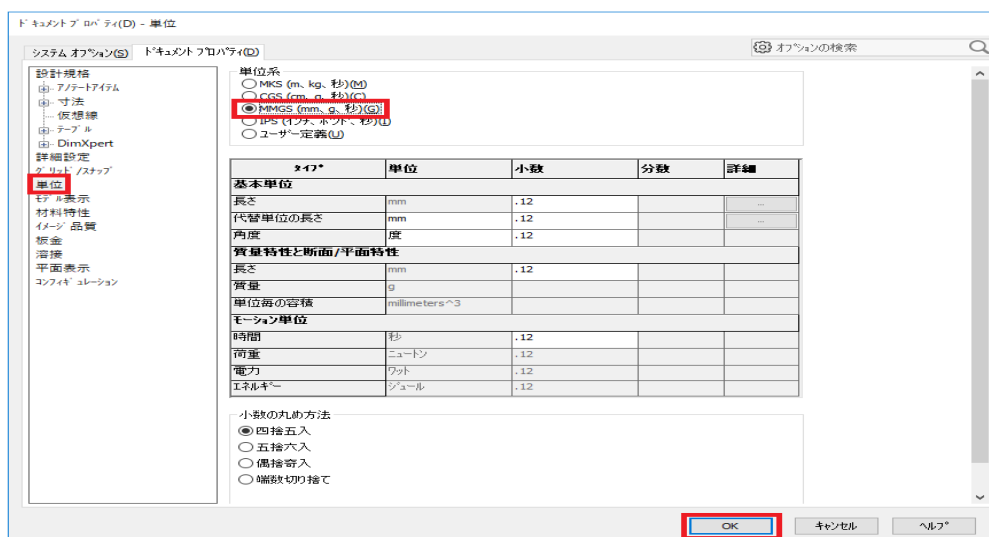
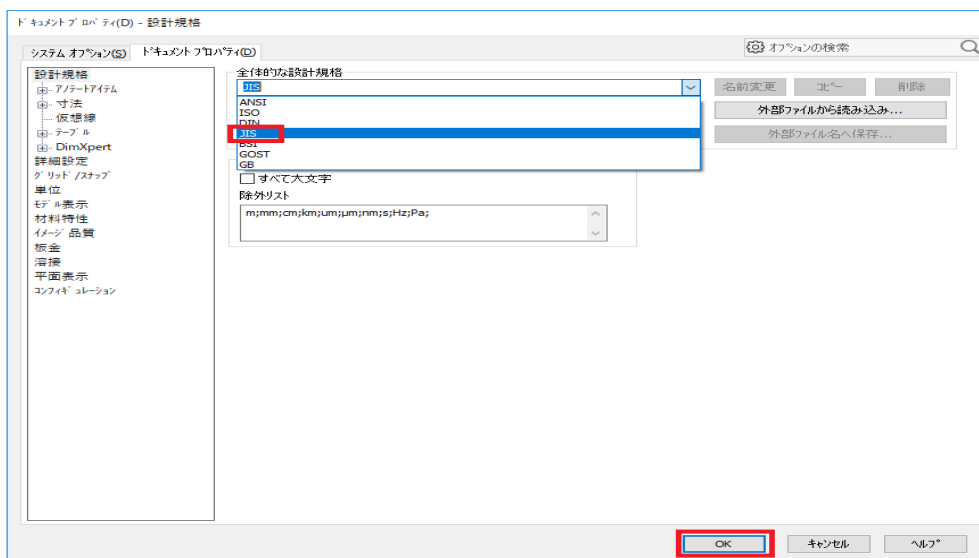
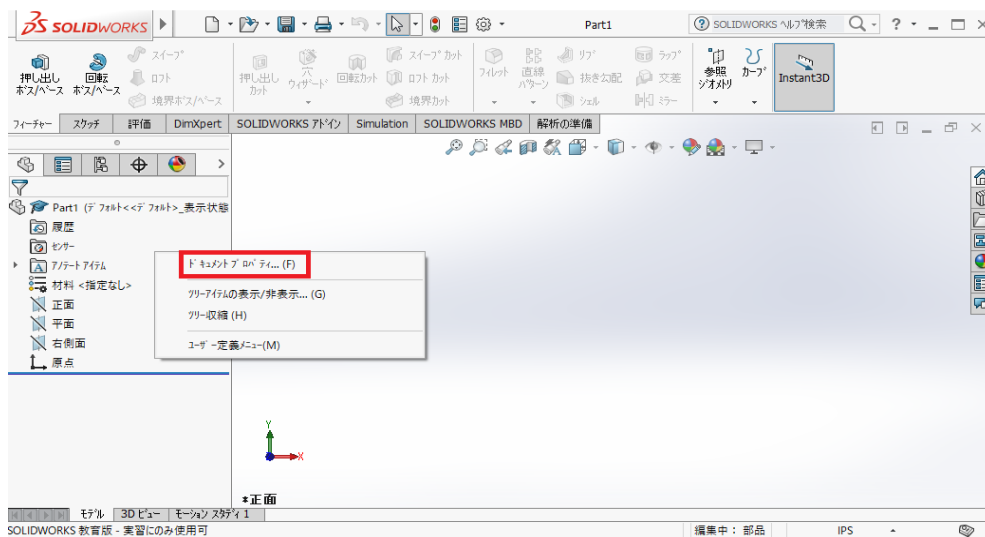


28) 『ファイル』→『新規』でドキュメントを作成します。『部品』を選択し『OK』をクリックします。





- 29) 左ペインで右クリックし、『ドキュメントプロパティ』をクリックします。  
『全体的な設計規格』が『JIS』であることを確認し『OK』をクリックします。  
『単位』が『MMGS』であることを確認し『OK』をクリックします。



- 30) 『ファイル』→『新規』でドキュメントを作成します。『図面』を選択し『OK』をクリックします。  
図面内の×ボタンをクリックします。



新規 SOLIDWORKS ドキュメント

×



部品

1つの設計コンポーネントを3Dで表現



アセンブリ

部品あるいは他のアセンブリを3Dで配置



図面

一般的な部品あるいはアセンブリの2Dの設計図



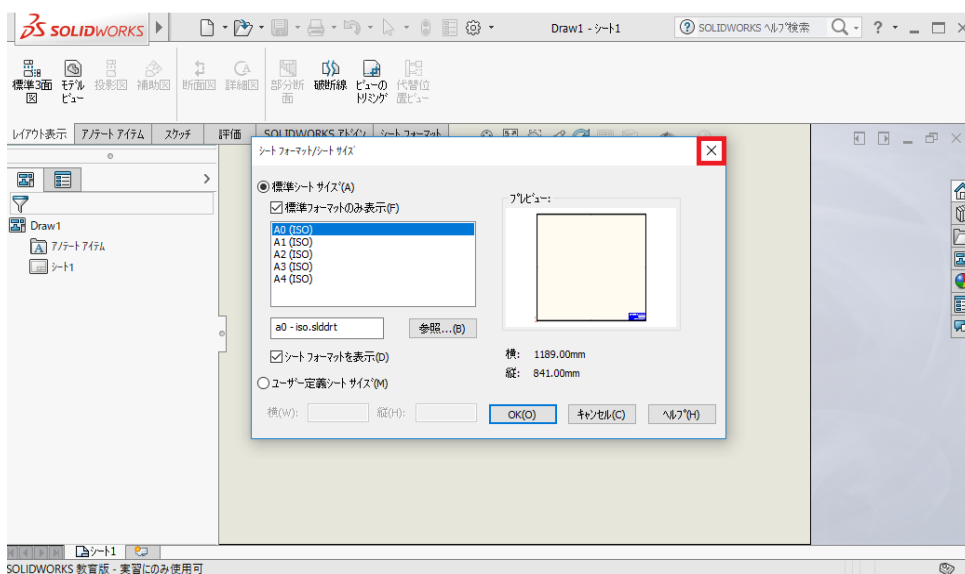
SOLIDWORKS チュートリアル

アドバンス

OK

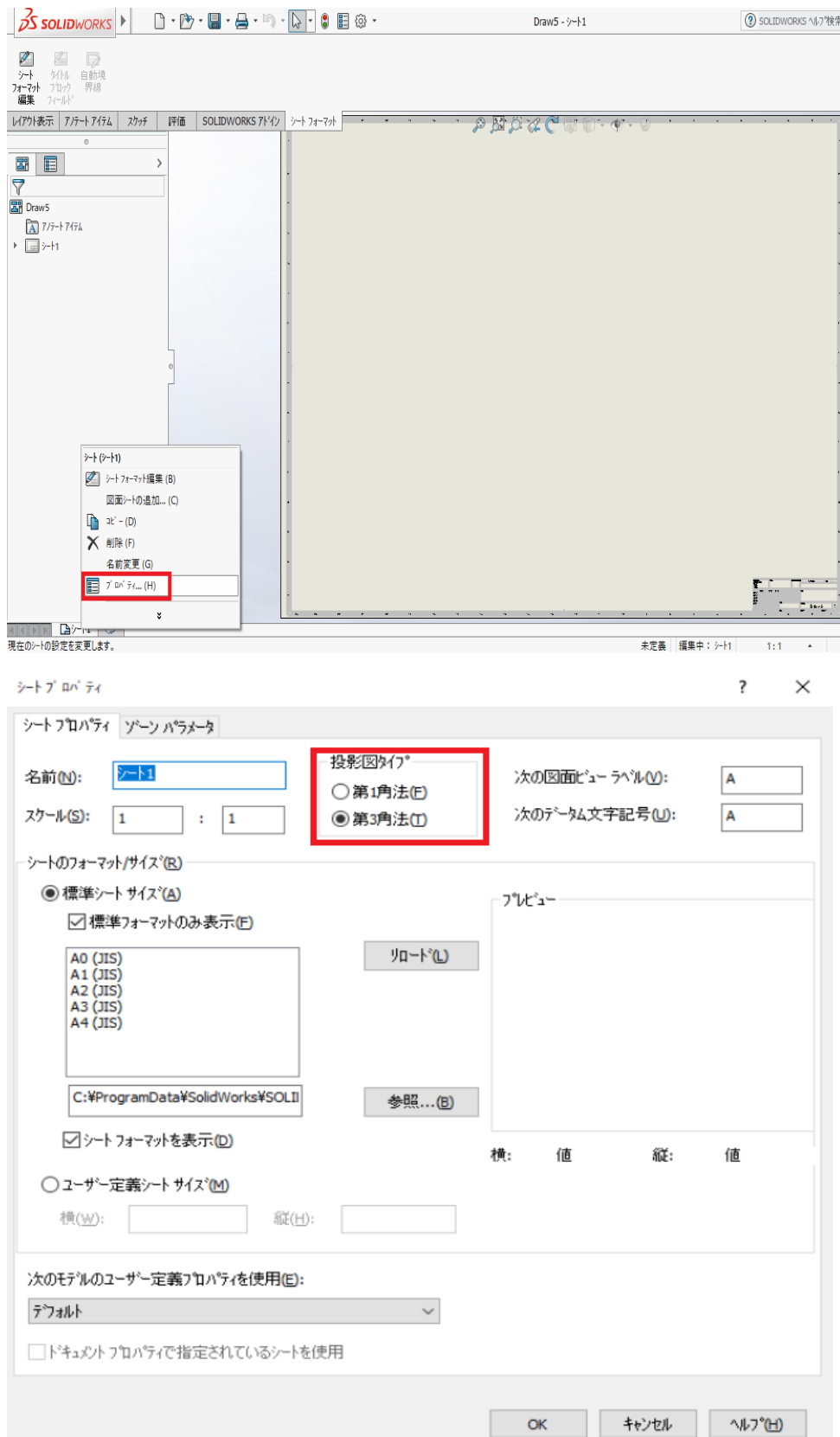
キャンセル

ヘルプ



SOLIDWORKS 教育版 - 練習にのみ使用可

- 31) 左下にあるシートの上で右クリックし、『プロパティ』を選択します。  
投影図タイプが第3角法であることを確認します。

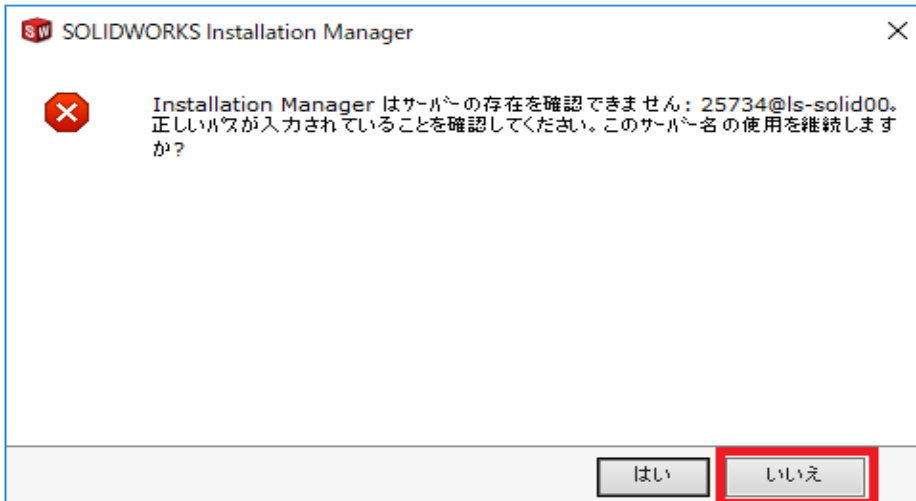


## 4. その他

### 4.1. ライセンスサーバの情報の入力時にエラーが表示される場合

手順『3.2.(8)ライセンスサーバ情報を入力』処理にて下図のようなエラーが表示される場合、以下の事が考えられます。本手順を参照して、確認をお願いします。

※下図エラー発生時は、『いいえ』を選択し確認を実施してください。



#### ・考えられる原因

- 1) ライセンスサーバ名が入力が間違っている。

↓

ライセンスサーバ名が正しいか確認して下さい。

**ライセンスサーバ情報 : 25734@ls-solid002**

(25734@エル・エス・ハイフン・エス・オー・エル・アイ・ディー・ゼロ・ゼロ・二)

- 2) ライセンスサーバ名の名前解決が出来ていない。

↓

KUDOS-ADに参加していないクライアントでは、ライセンスサーバの名前解決

(ホスト名から IP アドレスを調べる)が出来ない場合があります。

『スタート』→『アクセサリ』→『コマンドプロンプト』を起動後、

次の確認用コマンドを実行し確認して下さい。

**確認用コマンド : ping ls-solid002**

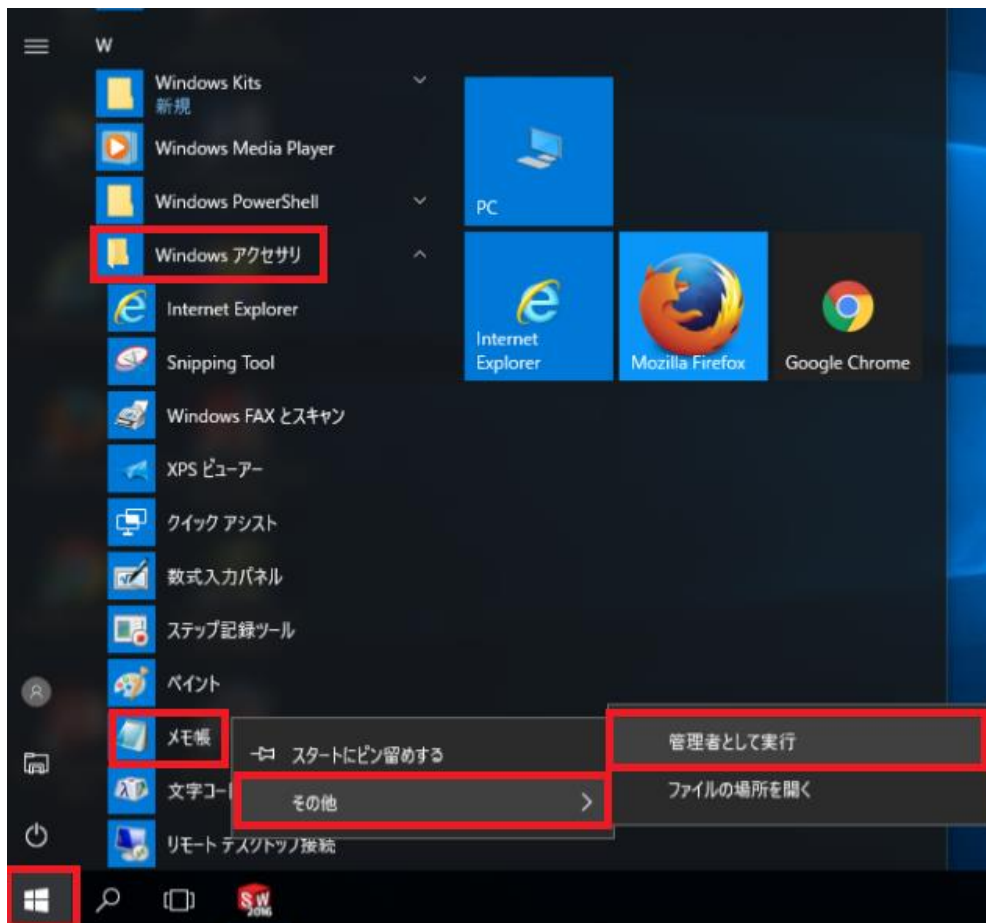
応答がタイムアウトの場合『4.2. HOSTS ファイルへのライセンスサーバ追加方法』の手順を参照して頂き、HOSTS ファイルに次の行を追加してください。

『**163.51.65.21**                      **ls-solid002**』 (※空欄部分は、Tab となります。)

追加後、再度 **ping ls-solid002** を実施し通信できる事を確認できましたら、インストール作業を続けてください。

## 4.2. HOSTS ファイルへのライセンスサーバ追加方法(Windows 10 の場合)

- 1) 『スタート』 → 『Windows アクセサリ』 → 『メモ帳』 を選択し  
右クリックより 『その他』 → 『管理者として実行』 を選択

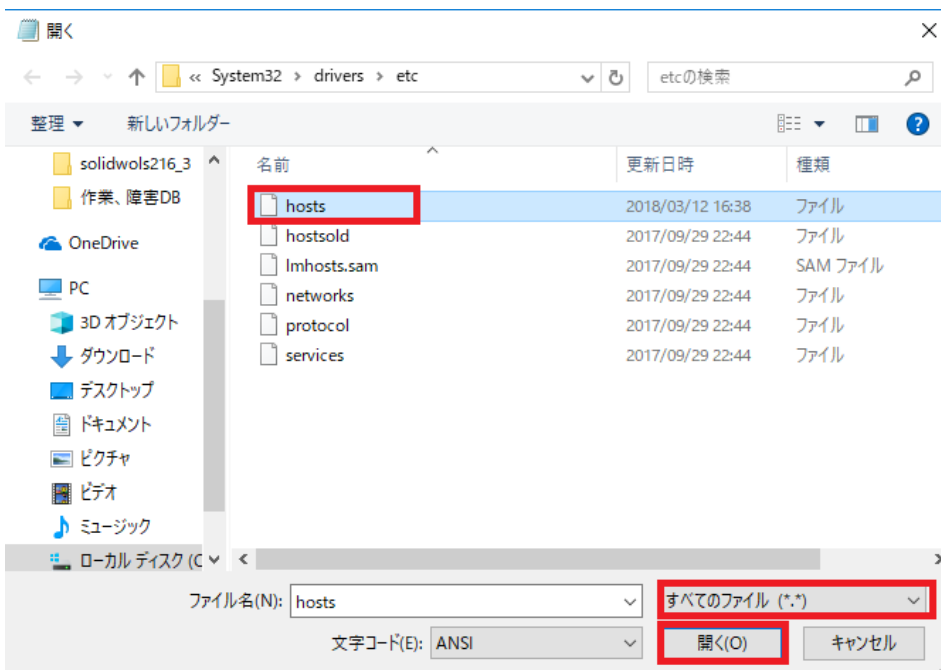
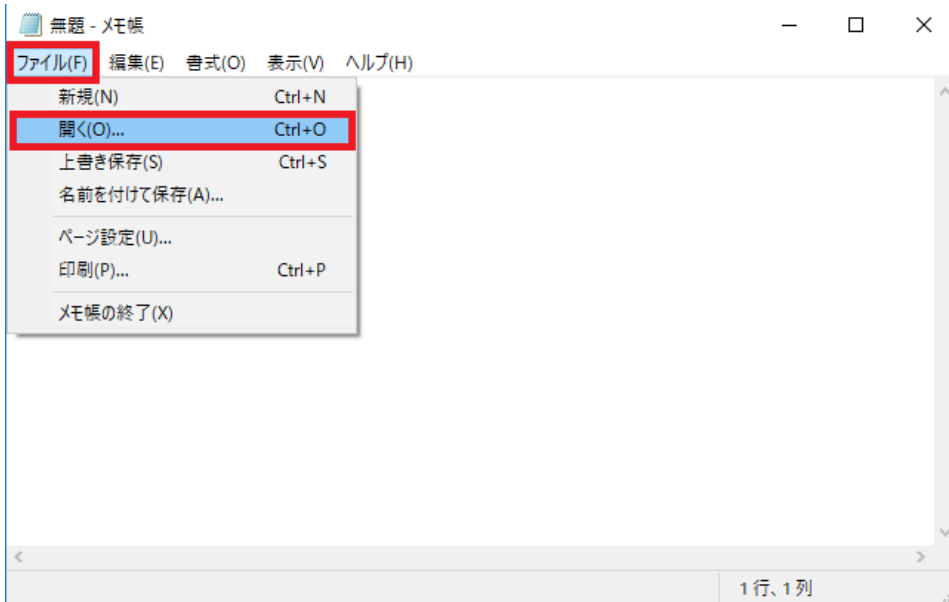


- 2) ユーザーアカウント制御の画面が出た場合は、『はい』 を選択し次へ進みます。

- 3) 起動したメモ帳の『ファイル』→『開く』より、  
下記ファイルパスの **hosts** ファイルを選択し『開く』をクリックしてください。

ファイルパス : C:\Windows\System32\drivers\etc

※開くファイルの種類を『テキスト文書(\*.txt)』より『すべてのファイル(\*.\*)』へ  
変更しておかないと **hosts** ファイルを選択できないので注意してください。

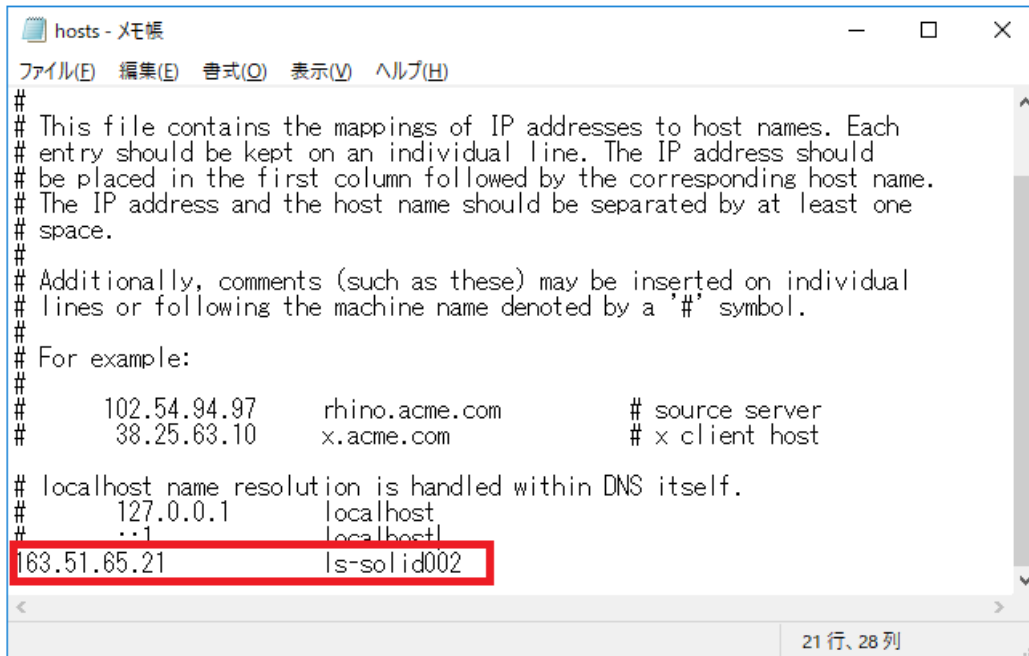


4) 開いた hosts ファイルに次の行を追加し、保存します。

『**163.51.65.21**                   **ls-solid002**』

※空欄部分は **tab** キーでスペースを空けて下さい。

以上で、追加は完了です。



```
hosts - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
#
# This file contains the mappings of IP addresses to host names. Each
# entry should be kept on an individual line. The IP address should
# be placed in the first column followed by the corresponding host name.
# The IP address and the host name should be separated by at least one
# space.
#
# Additionally, comments (such as these) may be inserted on individual
# lines or following the machine name denoted by a '#' symbol.
#
# For example:
#
#     102.54.94.97    rhino.acme.com    # source server
#     38.25.63.10   x.acme.com        # x client host
#
# localhost name resolution is handled within DNS itself.
# 127.0.0.1        localhost
# ::1             localhost
163.51.65.21     ls-solid002
21行、28列
```